いるので…」。中田の家族は言葉少なだ。

警察庁によると、ニセ電話詐欺は被害者の八割を七十代以上が占める。東海地方に住む八十代の保田昭代（仮名）も、そう。「家の中のどこにひもを掛ければ死ねるか。そればかり考えていました」。もう六年半前の事件だが、保田にとって、まだ終わった話ではない。

借りもした。九回に分けて計二千四百万円を郵送した。

待ちわびた「当せん金」の「振込日」。保田の口座には一円たりとも振り込まれず、やっと気付く。体の震えが止まらなかった。

「欲が深すぎる」。保田の日記には、事件が発覚した直後、長男に責められた際の言葉がある。当時も今も反論するつもりはない。だが、その欲深さは自分のためではなかった。「当せん金」は、工場を継いでくれた長男夫妻に渡し、機械の老朽化で先行きが不安な工場の建て直しに充てても らうつもりだった。

家業のお金に手を付けたこともあり、長男夫妻との関係は悪化する。目と鼻の先にある互いの家を行き来することは目に見えて減った。恒例だった長男夫妻や孫たちとの旅行も途絶えたままだ。他の親族やきょうの居いをこう説明する。

「なぜ、詐欺と気付かなかったのか」といった家族の非難や周囲の嘲笑が、ときに被害者らを追い詰める。保田の相談にも応じてきたNPO法人「自殺防止ネットワーク風」（千葉県成田市）の篠原鋭一理事長は、そう指摘する。自責の念にさいなまれる人たちには、根気よく説くしかない

電係をセたい二っ思い

ご意見・情報提供はこちらから

LINE 友だちに追加してください

メール shakai@chunichi.co.jp

ファクス 052(201)4331

〒460-8511（住所不要）
中日新聞社会部

華麗な経歴「カリスマ」

三重大元教授　資金集めに疑問も

三重大病院の医療機器導入をめぐり、自らが代表などを務める団体あてに賄賂を贈らせたとして、同病院臨床麻酔部元教授の亀井政孝容疑者(54)＝大阪市天王寺区＝が逮捕された。医師不足にあえぐ三重大病院臨床麻酔部の強化を期待され、招かれた医師。「腕利き」「面倒見が良い」との評判もあり、麻酔の専門医を集めるのに成功。麻酔科医育成のセミナーを開くことなどを目的に設立した一般社団法人は、企業から資金を集める受け皿にもなった。＝0面参照

亀井政孝容疑者

亀井容疑者は、防衛医大を卒業し米ハーバード大に留学。「循環器疾患医療の総本山」と評される国立循環器病研究センター（大阪府吹田市）で約二十年勤務した。所属する学会で研究成果を報告し、各地の医療関係の講演会に招かれた。

実績を買われ、准教授として三重大病院に赴任した二〇一六年四月、専門医は二人のみ。古巣の後輩らを招いて十人を超す規模に拡大して基幹病院の役割を果たそうとした。中には逮捕された元講師の松成泰典容疑者(54)も含まれる。

「若い医師を集めるため国内留学を設けるなど、良質な教育プログラムを用意した。さらに、良い先生がいるという評判をつく（下面）

麻酔部再建で手腕

日本光電工業の中部支店を家宅捜索し、押収物を運び出す捜査員＝6日午後3時55分、名古屋市熱田区新尾頭で

いった。専門医が増え、来年度も四人入ることになっていた」。容疑者を知る医療関係者はそう評価する。

教授就任後の二〇一九年五月、一般社団法人「BAMエンカレッジメント」を津市に設立。理事には、麻酔科医療で有名な全国の医師が名を連ね、松成容疑者や、別事件で津地検に起訴された部下の元准教授境偏宏被告(54)もメンバーに。

今回、問題になったのは、この法人への企業からの入金。関係者によると、一九年には贈賄容疑となった日本光電工業からの二百万円のほか、東京都内の医療機器メーカー二社から各百万円が同法人に入金された。亀井容疑者は周辺に「人材を集めるための飲食に使った」と説明。一方で、各社の担当者は本紙の取材に「麻酔科医療を学ぶセミナー開催に使われると聞いていた。飲食代に使われるなら入金しなかった」と答えた。

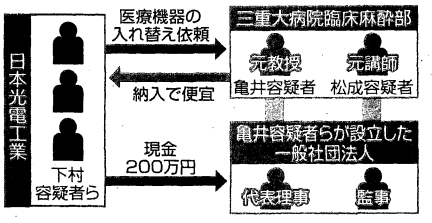
昨年に三重大病院臨床麻酔部のカルテ改ざん事件が明らかになってから、病院内の調査で、亀井容疑者が特定メーカーの製品を使うよう部下に指示していたことが判明し、院内外から企業との癒着を問題視する声も上がっていた。

同大関係者は、慕う人も多い亀井容疑者の人物像をこう語る。「カリスマ性がある。魔法がかかったように言うことを聞く人が周りにいた」

元三重大教授・亀井容疑者を巡る事件の経過

2018年4月	臨床麻酔部部教授に就任
19年5月	一般社団法人「BAMエンカレッジメント」を設立
8月	日本光電工業から法人に200万円の入金　※21年1月6日に事件化
	東京の医療機器メーカーから法人に100万円の入金
9月	東京の別の医療機器メーカーから法人に100万円の入金
20年3月	部下だった元准教授によるカルテ改ざんが発覚
9月	病院が約2200件のカルテ改ざんがあったとの調査結果を公表
10月	同病院を退職。元准教授が解雇
12月	元准教授が公電磁的記録不正作出・同供用容疑で逮捕、起訴
21年1月6日	部下だった臨床麻酔部元講師、日本光電工業の社員3人とともに逮捕

三重大病院の汚職事件の構図



「多大な迷惑と心配」

贈賄側の日本光電工業社員二人が贈賄容疑で逮捕された日本光電工業（東京）は、一九五一年設立で東証一部上場。

「多大な迷惑と心配をおかけし心よりおわび申し上げる。捜査が行われているので詳細の公表は控える」などとするコメントを出した。

危機的状況 悪化を懸念　三重大関係者ら

三重大臨床麻酔部元教授の亀井政孝容疑者(54)らが逮捕されたとの報道に、同大関係者は厳しい表情を見せた。

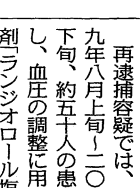
同大では昨年十二月に元教授の部下だった元准教授がカルテ改ざんを繰り返したとして逮捕されたばかり。「地域の医療を背負うはずの大学病院で事件が相次いだことは、大学全体として責任を感じなければならない」。同大幹部は心境を吐露し「信頼回復のために早急な体制の立て直しが求められる」と話した。

三重県は一連の事件以前から、麻酔科医の充足率が全国最低クラスだった。カルテ改ざんが発覚して以降、同部では専門医の育成プログラムの停止や医師の退職が相次いだ。同大病院とつながりの深い県内の開業医は「元教授の逮捕で、危機的状況が加速するとしたら影響は甚大」と訴えた。

三重大は亀井容疑者と松成泰典容疑者(54)が既に退職をしていることに加え、捜査が続いているとして会見は開かなかった。ホームページに「在職中の行為で逮捕され誠に遺憾。捜査に全面的に協力し、全学を挙げて再発防止に取り組む」とのコメントを掲載した。

カルテ改ざん事件　元准教授を再逮捕

津地検、詐欺容疑で



境偏宏容疑者

三重大病院の医師が、実際には使っていない薬剤を患者に投与したかのようにカルテを改ざんした事件で津地検は六日、公電磁的記録不正作出・同供用の罪で起訴していたこの医師を、詐欺の疑いで再逮捕した。

再逮捕されたのは、三重大病院臨床麻酔部の元准教授で医師の境偏宏容疑者(54)＝十月に懲戒解雇。地検は認否を明らかにしていない。境容疑者は、別の事件で第三者供賄の疑いで愛知県警などに六日に逮捕された元教授の亀井政孝容疑者(54)の部下だった。亀井容疑者が代表の一般社団法人の監事もしている。

再逮捕容疑では、二〇一九年八月上旬～二〇年四月下旬、約五十人の患者に対し、血圧の調整に用いる薬剤「コンジオロール塩酸塩」を使ったとするうその電子カルテを作成し、三重県国民健康保険団体連合会など二つの審査支払機関から、診療報酬計七十万円を病院に支払わせたとされる。

編集日誌

○…説明嫌い一号。緊急事態宣言発令を報告する議院運営委員会に菅首相は出席しないそうです（2面）。自分の言葉でしゃべれば、国民の支持が得られるかもしれないのに。もったいないなあ。

○…説明嫌い一号。桜を見る会前日の夕食会を巡って、安倍前首相側は明細書や領収書の提示を拒みました（2面）。あまり期待はしてなかったから、やっぱりとしか思わないけど。

○…ここまで読んで嫌な気分になった人には17面のりゅうちぇるさんのインタビューをお薦めします。彼のメッセージは、いろいろなことを考えさせてくれるはずです。（ぴ）

1日付朝刊別刷り特集の「新春お楽しみパズル」懸賞付き問題の正解は「トシオトコ」です。